ほけんだより。7月

長浜北星高等学校 定時制 2022.07

である。 梅雨が明け、すがすがしい青空が広がる季節がやってきました。夏は日が落ちるのが遅く、外で活動できる時間が長くなりますが、暑さに負けず元気に過ごすためには熱中症対策が必須です。からだに負担がかかる季節こそ、生活リズムを整え、体調を万全にしましょう!

マスク熱中症を予防しよう

マスクの着用により、熱中症のリスクが高まります。マスクを着けると皮膚からの熱が逃げにくくなったり、気づかないうちに脱水になるなど、体温調整がしづらくなってしまいます。暑さを避け、水分を摂るなどの「熱中症予防」と、マスク、換気などの「新しい生活様式」を両立させましょう。

マスク<mark>外して OK</mark>

- ・体育の授業
- うんどうぶかつ かつどうちゅう ・運動部活の活動中
- ・屋外で他者と十分な距離がとれるとき
- ・室内で **2m**程度の距離があり、会話が ないとき

マスク着用が必要

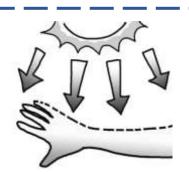
- ・換気が悪い場所
- ・濃厚接触者に該当するとき
- ・十分な距離がとれず、対面で会話す

るとき

- ・風邪症状のあるとき
- ・風邪症状のある人と接するとき

しがいせん ちゅうい **紫外線に注意しよう**!

紫外線による皮膚への影響



● **急性傷害** サンバーン (赤っぽくなる白焼け) サンタン (黒っぽくなる白焼け)

まんせいしょうがい **○慢性傷害** しみ、しわ、皮膚がんなど

紫外線を浴びすぎないための対策

- ○紫外線の強い時間帯(早前10時~午後2時頃)は、外での活動をなるべく避ける。
- ○つばの広い帽子、養補の腕、 日本などを活用する。
- ○百焼け止めをしっかりぬる。(曇りや繭の白も慧れずに)



